

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第48号

ななえ古写真物語

VOL. 48

いかだ焼き

名産品の陰に・・・

昭和30年代か？

大沼地区



nanae historical
museum collection

大沼のお土産といわれて、真っ先に思い浮かべるのは「大沼だんご」だろう。確かに、だんごの歴史は明治30年代までさかのぼり、由緒ある土産として今日に至っている。しかし、今回紹介するのは、「いかだ焼き」の方である。

まだ私が幼い頃、初めて出合ったいかだ焼きは、とても衝撃的だった記憶がある。串にさされて小さなワカサギが並んでいるのが斬新で、一匹ずつ順番に食べたり、先に腹から尾にかけてを一気に食べ、その後に残った頭の部分を口に含み、串を引き抜くようにして平らげるなど、食べて楽しかった。そして、何よりも子ども心に「甘い！」というのが嬉しかった。

当然、その頃は商品として出会っているので、上の写真のように、一匹ずつ手作業で串に刺しているとは想像もしていなかったし、当時の自分と同じような年代の子どもが手伝っていることにも驚いた。おんぶ紐で背負われる赤ん坊や、割烹着姿の女性たち、学生帽をかぶる少年などから、恐らく昭和30年代に写されたのだろうと想像しているが、内職の様な作業で、あのいかだ焼きが作られていたことをこの写真で知った時、遊びながら食べていた自分に反省してしまった・・・。

そんなほろ苦い思い出の一枚なのだが、ここで、七飯町の漁業の歴史を少し記したい。

ご存知の通り、当町には海がないため、漁業といえば、湖沼や川などの内水面漁業になる。特に、明治4年以降、開拓使によって、大沼を中心に鯉や鮒の移入が行われ、その後、繁殖を促すため禁漁期間を設けたといわれる。明治26年には峠下・軍川両村連合漁業組合が組織されたが、基本的には自由に漁ができたため、濫獲へと進んでしまった為、明治35年に大沼水産組合に改組し、水産資源の繁殖と保護に務めた。この間にも千歳湖からカバチェップ（姫鱒）を移入し繁殖した記録がある。

今回の主役であるワカサギは、昭和2年に網走湖から大沼三湖に移入し繁殖したのが始まりと考えられ、その後、幾度もの移入が繰り返され今日に至っている。昭和35年に発行された『大沼小史』によるといかだ焼きは、川村秀次郎という人物が、霞ヶ浦公魚塩魚二本刺からヒントを得て考案し、昭和4年には、本州方面にも出荷されたという。

これからがワカサギ釣り本番。だんごだけではなく、わが町の漁業の歴史が沁みこんでいるいかだ焼きもいかがでしょうか？

24日

友の会の皆さんが、歴史館野草園の冬囲いをしてくださいました。

冷たい風が吹く曇り空のなか、表示板の手入れやむしろかけなどを、分担して手際よく進めていく皆さん。抜群のチームワークで約2時間で作業は終了！ありがとうございました。



バードテーブルを設置しました。

当館正面玄関横・文化の森付近にバードテーブルを設置しています。朝は、シジュウカラが忙しそうに飛び回りながら餌をついばむ姿を見ることができ、カケスやヤマガラなどもよく訪れます。

館内ロビーと学習サービス室に双眼鏡を用意していますので、ぜひ観察してみてください。



ロビー写真を新しくしました。

ロビーに掲示している写真を、春夏仕様から秋冬に入れ替えしました。

11月に開催された[学芸員のための日本刀実践講座]での職人による実演風景や、珍しいコクマルガラス、今年話題のリング「ななみつき」など... 12枚の写真を掲示中です。お気軽にご覧ください。



収蔵展[やおよろず]を開催いたします。

12月21日から平成24年2月14日まで収蔵展[やおよろず]を開催いたします。まるで舞台の小道具のような照明や、どうやって使っていたんだろう？と思わずにはいられない、不思議な形の道具たちをご紹介します。

また、実践・体験コーナーとして、鯉節削りや石臼、生薬を粉末にする時に使う薬研や、カンテラ作り(缶の中にロウソクを灯して使用します。などのコーナーも計画中です！ぜひお友達やお子さんにご来館ください。



準備中...

編集後記 ~tawagoto~

忘年会のシーズンになった・・・この時期は、本人の意思に反して肥えてしまう。まあ、誘われる忘新年会全てに出席せずに、断ればよい事なのだが、大人の都合で、そうは言ってもらえない場合が多い(恐らくこれは、酒が飲みたいが為の言い訳なのだろう)。この間も、出張の折に久しぶりに会う方々とたしなむ程度飲んだが、こういった積み重ねのツケが、年を越したあたりから、目に見えて表れる事を思うと恐ろしい・・・。(やまだひさし)

1月の予定

1	日	元旦 年末年始休館日
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	成人の日
10	火	
11	水	夜の博物館
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	ジュニア探検クラブ
29	日	ふぁみりーでいみゅーじあむ
30	月	
31	火	

1月の休館日は1～5日です。

歴史館の隠れた人気者...

第45号でもご紹介した、当館のアイドル・スジエビ。頭数は減ってしまいましたが元気です。こんなかわいい動きも (A)



Richard

～ピチャリ～

第48号

平成23年12月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp